

スペシャリストの仕事《認定看護師 11名》

認定看護師とは、特定の分野で専門的な知識と熟練した技術を持つ看護のスペシャリストです。今般、厚生労働省が定める指定医療機関で特定行為研修を修了した3名の「特定認定看護師」も誕生し、より実践力が高まっています。このように、当院では**特定認定看護師も含め11名の認定看護師**が、病院で地域で活躍しています。



認定看護管理者 看護部長：中島範子

がん化学療法看護認定看護師・認定看護管理者：中村 吉孝



がん化学療法看護は、がん化学療法を受ける患者さんとその家族を支え、安全を守っていくことを使命としています。化学療法は複雑で不確実な部分も多くあります。その中で近年、化学療法の場合は入院から外来へとシフトしています。その為患者さん及びご家族の方が病気を理解し、治療の副作用に対して予防・早期発見・対処を自宅でできる必要があります。私たちは患者さんの生活の視点から個別的、継続的なケアを提供し、患者さんのセルフケア能力を高めるように取り組んでいます。また、治療が安全に行えるように自主的な監査を継続して行い、安全で安心した治療が行えるように心がけています。

がん性疼痛看護認定看護師：山口 裕子



がん患者さんでは、約70%の方が痛みを体験すると言われています。がん患者さんの体験する痛みは、身体的な苦痛だけでなくこころや社会生活にも大きな影響を及ぼします。がん性疼痛看護認定看護師は、治療期から終末期に至るまで、適切に身体状況をアセスメントし、鎮痛剤の評価と疼痛緩和に対する看護ケアを提供します。患者さんやご家族に寄り添いながら、それぞれの患者さんに最も適した緩和がはかれるよう、患者さんとご家族のQOL(生活の質)の向上を目指します

クリティカルケア特定認定看護師：伊藤 香菜子



救急や集中治療の場は、突然発生した病気やケガにより身体的・精神的危機状態にある患者さんが多くみえます。限られた情報の中で患者さんに寄り添い医師など多職種とチーム医療を行うことで、可能な限り早く危機的状態から脱するようサポートするのがクリティカルケア看護であり、患者さんと同様に精神的な危機状態にある家族への援助も大切な役割です。また、クリティカルケア認定看護師として、活動の場を地域へと広げ、救命講習や応急処置・来る巨大地震に対する災害対策など様々な形で地域の健康を守る一助を担いたいと日々努力しています

小児救急看護は、救急外来に受診する子どもやその家族に対して必要なアセスメントを行い、看護ケアを的確に行うことが求められています。また、家庭内で安心して育児支援や子どもの事故予防も含めた看護ケアを提供したり、子どもの虐待を発見した場合の対応も大切な役割になります。その対応も院内だけでなく、地域の子もたちが安全に過ごせるように、子どもの救命指導や事故予防、災害対策などを地域でも行い、社会資源となれるように努力していきたいと思ひます。「子どもの権利」を守り、子どもとその家族が笑顔になれるように日々看護していきます



小児救急看護認定看護師：江川 美佳

皮膚・排泄ケア看護(Wound Ostomy and Continence Nursing)とはストーマ造設や褥瘡及び排泄障害に伴い生じた問題やケア相談を専門的な視点からアセスメントを行い、個人に適した排泄管理や適切な皮膚ケアを実践・指導します。清潔、排泄は人間にとって基本的な生活行動であり、本人や家族が望むニーズに少しでも応じられるように、医師、担当看護師、栄養士、薬剤師、または地域医療に従事している方々と連携をとっています。より快適な日常生活を過ごしていただけるよう、専門的な観点からサポートができればと考えています。



皮膚・排泄ケア特定認定看護師：櫻井 亜沙子

感染症はたくさん存在していて、細菌やウイルスは目に見えない為いつ感染してしまうか分からない厄介なものです。病院においては、入院したり治療・手術を行ったり、元々の病気で免疫力が低下することで人は感染しやすい状態になります。そのような患者さんが感染から身を守るように、当院では感染制御チーム(Infection Control Team: ICT)や感染リンクナース委員会を通じて、院内感染の情報を共有したり、早期に対策を立てて実践することで、感染や感染拡大の防止に努めています。これからは患者さんが安全にかつ安心して入院や治療ができ、また職員が安心して働くことができるような職場環境を整えられるように活動していきたいと考えています。



感染管理認定看護師：法山 志穂

訪問看護とは、病気や障害を持っていても住み慣れた地域、我が家で自分らしい生活を送りたいと願う方々を支援するサービスです。サービスの内容は病状の観察から身体の保清、食事や排泄の援助、リハビリ、在宅酸素などの医療機器の管理、認知症ケア、がん末期などを含む終末期ケア、その他ご家族様の介護相談の対応と幅広いサービスを提供させていただいております。訪問看護師が利用者様のお宅に訪問し、医師の指示のもと関係職種と連携をとりながら在宅療養を総合的に支援いたします。在宅での生活は病状の進行による苦痛や将来の不安、介護疲れなど様々な問題が生じてきます。それでも自分らしく納得のいく生き方をしたい、そんな思いを大切にしながら地域の方々の生活のお手伝いをさせていただいております。



訪問看護認定看護師：東川 亜依子

糖尿病看護特定認定看護師：平岡 めぐみ



糖尿病看護認定看護師は、糖尿病患者さんが生涯にわたり糖尿病とうまく付き合いつつ、その人らしく生活していくためのサポートパートナーです。一人ひとりを身体・心理・社会的側面から幅広く捉え、その人のよりよい人生のために日々の生活の中で行える食事・運動・薬物療法と一緒に考えていきます。また、2020年に特定行為研修「血糖コントロールに係る薬剤投与と関連」を修了し、医師からの事前指示のもと「患者さんの生活に合わせたインスリン投与量の調整」を行うことが可能となりました。患者さんの身体状況を把握し、生活状況やさまざまな思いに合わせたタイムリーなインスリン調整をご提案できるように日々努力しています。

認知症看護認定看護師：水谷 穂身・新 博恵

認知症看護認定看護師の役割は、認知症の人の『意思を尊重』し『権利を擁護』し、認知症の発症から終末期に至る病状の管理を行い、認知症の人にとって安心して安全な生活・療養環境が維持できるように調整していきます。認知症の人や、そのご家族の不安な気持ちに寄り添い、多職種の方々と協働しながら安心して治療が受けられ、住み慣れた場所へ戻れるように地域にも貢献して行きたいと思ひています。

